

【 教科外教育チーム 講座紹介 】

.....「中学校 生徒会活動 実践講座」.....

講座のねらいは何ですか？

生徒会活動は、それぞれの学校文化、そして担当教師によるところが大きいものです。生徒会担当教師からは、「活動ありき」、「生徒まかせ」、「教師主導」等の悩みの声がよく聞かれます。そこで、原点に立ち返り、特別活動の理念および具体的かつ効果的な指導法について研修を行うことで、生徒会活動に関する指導力の向上を図ることをねらいとして行いました。

具体的な講座の内容、及び研修者の反応について教えてください！

【 1 日目 】

【協議】「生徒会活動指導上の諸問題」

指導上の諸問題について、ブレインストーミング、KJ 法を用いて整理し、研修者同士で共有化を図りました。

研修者の感想から

- ・ KJ 法を初めて活用したが、様々な諸問題に対する解決方法に活用できると思った。
- ・ 他校の先生方と悩みを共有することができたと同時に、改善策をそれぞれアドバイスし合うことでとても勉強になりました。



研修担当から

まずは現状分析から。学校規模で班分けし、ブレインストーミング、KJ 法等を用いたことで指導上の問題点が分類・整理され、効果的でした。また、「本部役員会を始め、各話し合い活動においても KJ 法を応用できそうだ」との声もありました。

【実践報告】「生徒会活動実践例の紹介」

醸芳中学校の藤田誠也先生から、昨年度の中教研県大会での発表内容を中心として、指導過程における苦労話も含めて報告いただきました。

研修者の感想から

- ・ 昨年度公開授業を見せていただきましたが、その中では知り得なかったことも聞かせていただき、興味深かったです。
- ・ 委員会の様々な取組みについて知ることができ、とても参考になった。また、生徒会活動が学校の諸問題と密接にかかわっていることを知り、興味深い話だった。



研修担当から

委員会活動を中心とした生徒会活動について、詳しい資料に基づいて一つ一つ丁寧に報告いただきました。素晴らしい実践内容に加え、「教務との連携を図る」、「教育計画づくり段階から」、「校務運営委員会への提案」等、学校組織全体を巻き込んでの生徒会活動の取組みが大変印象的でした。

【発表・協議】

「生徒会活動に関する各学校の実践的な取組みについての発表と協議」

各学校の具体的実践を紹介し合い協議することで、指導上の工夫点を学びました。

研修者の感想から

- ・ ほかの中学校の具体的実践例を知ることで大変ためになった。協議を通して実践力を身に付けることができた。
- ・ 自分の学校にはない活動やいろいろな工夫点を聞いて、自分の学校でも実践してみたいと思うものがあつた。
- ・ 生徒会活動について多くの資料が集まり、今後に生かしたい。



研修担当から

生徒会活動は学校文化を反映するものであり、学校文化を創り上げていく機能を持っています。中学校 10 校あれば、10 通りの生徒会活動が存在します。紹介してもらったその学校ならではの生徒会活動の特色や工夫している内容は、どれも明日からの生徒会活動に生かせるものばかりでした。

【講義】

「生徒会活動の意義と指導上の工夫」

特別活動における生徒会活動の位置付けや意義をおさえるとともに、日ごろの実践を振り返りながら、指導上の留意点や工夫すべき点について学びました。

研修者の感想から

- ・ 学習指導要領の内容をじっくりと読む時間はなかったので、勉強になった。改めて理論の大切さを知った。
- ・ 特別活動の意義を踏まえた実践の大切さを知った。今後の教育活動に生かしていきたい。
- ・ 生徒会の規約、会則は、生徒にとってわかりやすい言葉で表現することが大切だと知った。学校に戻ったら自校の規約を見直してみたい。

生徒会活動の教育的意義

	生徒の具体的な姿
ア 自主的、実践的な生活態度を身に付けさせることに役立つ活動である。	生活委員会の委員長として自ら進んであいさつ運動を毎日欠かさず行った。 合唱コンクールに向けて優勝を目標に練習を企画し取り組んだ。
イ 好ましい人間関係を育てるのに役立つ活動である。	

研修担当から

日ごろ、活動に取り組んでいる生徒たちの具体的な姿を付せんにとどんどん書き込み、左表に示した生徒会活動の五つの意義ごとに分類していきました。なかなか理解しにくい学習指導要領の内容も、具体的な生徒たちの姿からイメージすると分かりやすくなります。

【2日目】

【演習・協議】

「生徒会活動の指導構想の作成と交流」

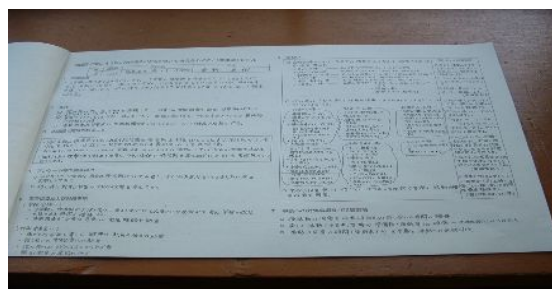
2学期以降予想される活動について、指導上踏まえるべき点を幾つかの視点から洗い出し、「要素表」と言われる一覧表にまとめていきました。

研修者の感想から

- ・ なかなかじっくり指導構想を考える機会がなかったので、改めて行事等を見直す良い機会となりました。実際に指導案形式で書き起こしてみるといろいろな問題点が見えてきました。
- ・ いつもはこれほど計画性をもった実践をしていないので、勉強になりました。
- ・ 話し合い活動の持ち方について多くの意見をほかの先生方から得ることができました。手立てをしっかりと考えていくほど、やらなければならないことが見えてきました。

研修担当から

「要素表」には、「条件」や「本議題で期待されること」、「事前指導及び対処事項」等の視点が示されています。研修者はそれに沿ってまとめていくことで、2学期以降にすぐに生かせる一種の指導案を完成させることができたことは大きな成果でした。



【講演】

「生きる力を育む望ましい集団活動の在り方」

獨協大学 教授 安井 一郎

研究者の立場から特別活動に関する最新情報を交えながら、今後の望ましい集団活動の在り方について講演を頂きました。

研修者の感想から

- ・ 理論とはいっても、現場を十分に踏まえた内容での講演だったので、学ぶことが多かった。言ったことは必ず実行する、共通理解の重要性はどの分野にも通ずることだと感じた。
- ・ 特別活動の存在意義を改めて確認できた。2学期から、今日学んだ視点で生徒と一緒に考えながら実践していきたい。もっと多くの先生方に聞いてほしい内容だった。
- ・ 生徒を変えるためには教師が変わらなければならない・・・、なかなか難しいことだが、少しでもできるところから実践していきたい。

研修担当から

一言で申せば、安井先生の「特別活動は何のために存在するのでしょうか？・・・、そう子どもたちの生活づくりそのものなのです」に尽きると思います。

聴講者の感想から

- ・ 「特別活動＝学校の生活づくり」の大切さを実感しました。直接「自治的活動」とはおっしゃいませんでしたが、子どもに任せる活動、自治的活動の充実が必要だと感じました。
- ・ 教師集団づくりの重要性と今日的困難さの壁をどう乗り越えていくか、さらに学んでいきたいと思えます。

最後に研修担当からメッセージをお願いします！

「生徒会活動」に絞っての講座は今回初めての試みでした。中学校では一部の担当教師に任されるケースが多く、組織的に取り組んでいくことも大きな課題の一つです。しかし、生徒会を担当できることは、教師人生において大きな宝となるはずです。来年度、さらに多くの方が受講されることを願っております。